

第10回 真 空手チャレンジカップ2019

～第8回日本武道振興会チャンピオンカップ選抜指定大会～

開催のお知らせ

主催 : 富田流実践空手道 成心會

開催日時 : 平成31年 2月 3日(日) 9時 開場受付 10時 開会式

開催場所 : 大阪市立中央体育館 サブアリーナ 大阪府大阪市港区田中3-1-40

ルール及び概要 : 日本武道振興会フルコンタクト空手ルール

ヘッドギア・拳サポーター・すねサポーター・金的カップ着用

初中級は面有ヘッドガード 上級クラスはヘッドガード着用自由(面あり不可)

上段膝蹴りは上級クラス中学生以上(男女共)のみ有効

募集クラス : ●初級クラス 大会出場経験の少ない者(初級クラスで入賞経験のある者は不可)

幼年男女混合 … 年少・年中の部(1クラスのみを、初級上級の区別なし)
年長の部(初中級クラスになります。)

小学生 … 1年～6年各学年 男女別

中学生 … 中学生男子・女子(1～3年合同) 参加人数により軽重の区別あり

●中級クラス 過去上級クラスで入賞のある者の出場不可 黒帯不可

小学生 … 1年～6年各学年 男女別

中学生 … 男子・女子(1～3年合同) 参加人数により軽重の区別あり

●上級クラス 日本武道振興会チャンピオンカップ選考クラス

幼年 … 幼年 男女別

小学生 … 1年～6年各学年男女別 男子は3年生から女子は4年生から体重別

中学生 … 1年～3年合同 男女別 軽 中 重の体重別

注:各クラスとも規定の人数に満たない場合はクラスの統合等を行う場合があります。

参加費用 : 選手1人につき 6000円

※参加費は、団体責任者が一括して参加申し込み人数分現金書留にて納めてください。

尚、申込後は、出場如何にかかわらず参加料の返却はできませんので、あらかじめご了承ください。

(主催者側の理由により組合せができない場合は返金いたします。)

又、天災や行政の規制等やむをえない事情で開催できない場合は1カ月前までは全額返金、以降は50%の返金となる旨あらかじめご了承ください。

※出場選手は必ず各自でスポーツ保険に加入して下さい。試合中の負傷または事故が生じた場合、主催者は一切責任を負いません。

※大会当日、申告体重及び各クラスの基準を超えている場合は失格となります。出場選手は虚偽のないよう正確に記入して下さい。また、成長期のお子さんに無理な減量等させず、余裕をもってエントリーして下さい。

※今大会は2019年2月末開催予定の第7回チャンピオンカップの代表選考大会ではありません。

来年2020年に行われる第8回大会の代表権が獲得できる指定大会となっております。

申込先 : 〒582-0021 大阪府柏原市国分本町4-9-18

大会事務局 富田 成仁 宛 TEL 080-8344-0180

締切日 : 平成30年 12 月 15日(土) 必着をもって有効とする

試合規約

組手 本大会の組手時間は、本戦1分30秒、延長1分とする。組手の勝者は、一本勝ち・判定勝ち・相手選手の反則ないし失格により決定される。

【試合進行】

(1回戦から準決勝戦まで)

本戦1分30秒 ⇒ 延長1分 ⇒ 体重判定(軽い方勝者)

(決勝戦)

本戦1分30秒 ⇒ 延長1分 ⇒ 再延長1分 ⇒ 体重判定(軽い方勝者)

いずれの場合も体重判定において両者の体重が同じ場合、再度マストシステムにおける延長戦をおこなう。

1：一本勝ち

- a. 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち・膝蹴り等を決め、相手選手がダウンした場合(すぐに立ちあがった時は、技あり) 上段膝蹴りは上級(中学生以上男女)の部のみ有効
- b. 「技あり」を2本決めた場合
- c. 相手選手が「失格」の場合

2：技あり

- a. 反則箇所を除いて、突き・蹴り・肘打ち・膝蹴り等を決め、相手選手がダウンしたが、すぐに立ちあがった場合(3秒以内) 上段膝蹴りは上級(中学生以上男女)の部のみ有効
- b. 無防備の顔面に足技が的確に決まった場合(触れただけではとらない)
* 幼児、低学年や初級クラスの場合は多少軽くても的確に当たっていれば技ありとする
また、安全面を考慮し、下段や中段でもダメージがみられる場合技ありとなる。

3：判定勝ち

- a. 5人審判制は、3本以上の旗が挙げれば有効
- b. 3人審判制は、2本以上の旗が挙げれば有効
(判定の際は主審、副審ともコールと共に判定をする)
- c. 審判が試合続行を危険と判断した時

4：反則

- a. 手技による、首から上への攻撃、及び金的、頭突きの攻撃
- b. 倒れた相手選手への攻撃、及び相手選手を掴んだり、投げたりした場合
(引っかけも反則)
- c. 初・中級の部、小学生以下の上級クラスでの上段への膝蹴り
- d. 審判員の判断により、特に反則とみなした場合

注. 反則は主審・副審のコールが1人の場合でも注意1が与えられる事がある

注意2で減点1、減点2で失格となる。減点1は相手選手への「技あり」とする

5：失格

- a. 試合中、審判員の指示に従わない場合(粗暴な振舞い、悪質な試合態度、応援によるヤジや中傷も失格の対象とする)
- b. 注意を4回重ねた場合

- c. 見合ったままの状態です30秒以上経過した場合
 - d. 各試合コートにて選手を呼び出した際にその場にはいない場合
- 注1 初・中級の部は面付きのヘッドガードを着用、上級の部はヘッドガードの着用を自由とするが、面付きのヘッドガードの使用は不可とする。
- 注2 出場選手は、ヘッドギア、拳サポーター、金的カップ、すねサポーター（スポンジ製で足甲までカバーするもの）、膝サポーター（任意）着用
(極端に薄いもの、大きすぎるものや中に重りを入れる等、独自に改良されたものは使用禁止)
- 注3 女性選手の胸部プロテクターの着用は任意とします（プラスチック製・板等の入ったものは使用禁止）
- 注4 ヘッドギアは、主催者が用意します。その他のプロテクターは各自、用意し持参すること。ない場合は失格となります。主催者の許可があれば自身の物を着用しても構わない。
- 注5 テーピングは使用禁止（ドクターの許可があれば必要最小限の使用可）
- 注6 その他、持病等でプロテクターの着用が必要な場合は申込みの際に大会事務局までお問い合わせください。（空手の試合に出場できる健康状態である事が前提）